

小町先生 国体出場!!

「試練は成長の種」～長崎国体出場から～

小町 昂史 先生



一昨年の7月、相撲競技の国体選考会に出場しましたが、あと一步届きませんでした。前年度までは出場を果たしていましたが、自分より若い選手が力をつけ、自分の出る幕はもうないのかと感じていました。そんなことを考えた矢先、部活の指導中に左膝の大怪我をしてしまい、自分の限界をより一層感じてしまいました。

しかし、自分と同じように大怪我をしながらも、以前のように競技スポーツを続けるために必死でリハビリを行っている選手が何人もおり、自分もリハビリを行う過程で、「このままで終わっていいのか」と思うようになりました。そして、もう一度復活し、どうせなら前より強くなり、次の国体に出場しようと決意したのです。そこから身体を鍛えなおし、翌年の国体選考会で入賞し長崎国体への切符を手に入れました。

残念ながら長崎国体では1勝もできませんでしたが、悔しい思いより、やりきったというすがすがしい気持ちで終えることができました。それはきっと、大怪我を乗り越えて必死で努力し、自分の目的を果たしたからだと思います。

高校生の皆さんはまだまだ若く、成長の伸びしろはたくさんあります。しかし、大きく成長するかどうかは本人の努力次第だと思います。スポーツでも勉強でも、どんな人にも可能性はありますが、同時に試練も必ずあります。簡単に諦めず、前向きに、ひた向きに、「試練は成長の種」と自分に言い聞かせてみるのも悪くはないです。



授業の成果が県の施策に!!

地域の課題に挑む ～塩山高校から山梨をPR～

廣瀬 志保 先生

9月に山梨県庁で、3年4組の生徒が「山梨の観光とおもてなし」について山梨県観光部に提案をしました。これは、4月から探究的に取り組んできた成果を報告したものです。作成にあたり、専門家の助言、現状の把握、アンケート調査などを行い、調査結果から解決策を考えたものをプレゼンテーションしました。

提案内容は、甲州ワインのPR方法として、購買層の低い20,30代をターゲットにしたポスター作成に取り組んだ班、子どもたちへの地域理解として、民話から紙芝居を作成し、千野保育園や塩山北児童館などで交流会を開催した班、恵林寺に避難経路の看板を設置した班、地域のCMを制作した班、温泉のPRとして信玄の隠し湯を中心にバリアフリーにも注目して温泉地を紹介した班、観光客が減少する2月に、星を観るバスツアーの企画をした班などです。

発表終了後、山梨県観光部赤池隆広次長からは、「実現できそうな提案は積極的に取り入れたい」と、また、阿部邦彦教育長からは、「周りの課題に目を向け、調査、探究、解決策を考える活動は今求められている力です。これを手始めに、周りの課題について目を向けてほしい」とお話をいただきました。また、生徒からは「地域の魅力に気づいた」「自分に自信が持てるようになった」「やりがいを感じた」「地域の人に感謝したい」という感想が寄せられました。

この報告会のことが朝日新聞や山梨日日新聞に紹介され、それを読んだ地域の方からも手紙を頂くなど、反響の大きさに驚いています。多くの方々に励ましやお褒めの言葉をいただくことができました。また、現在、駅などに置かれている「やまなし観光&イベントガイドブック冬号(やまなし観光推進機構)」は、生徒の提案が生かされて出来たものです。そして2月には生徒が企画した星を見るイベントが行われる予定です。今後も生徒の探究活動と、教科で学んできたことを最大限活かして、地域の方々との連携もさらに強くなるような取り組みにしていきたいと思っています。



情熱を力に
夢をカタチに



発行：山梨県立塩山高等学校
甲州市塩山三日市場440-1 〒404-0047
☎0553-33-2542

発行日 平成27年 2月

EZ times

夢をカタチに

第3号

2015 Feb.



普通科と商業科を併設した総合制高校である塩山高校で、『夢をカタチに』を目標にひたむきに頑張っている生徒たちの姿を皆さんに知ってもらいたい。そんな思いのこもった学校通信です。ぜひご覧ください。

何かを感じた瞬間

秋から冬にかけ、芸術文化祭をはじめとした、文化局が活躍する場面が多く、また、学校行事でも強歩大会、修学旅行などが行われ、生徒たちは充実した時間を過ごしました。

そこで、今回は様々な体験から実感したことを生徒たち、先生方に伺いました。



山梨県高等学校芸術文化祭受賞!

「継続は力なり」を実感した瞬間

書道部1年 桑原 瑠璃 さん

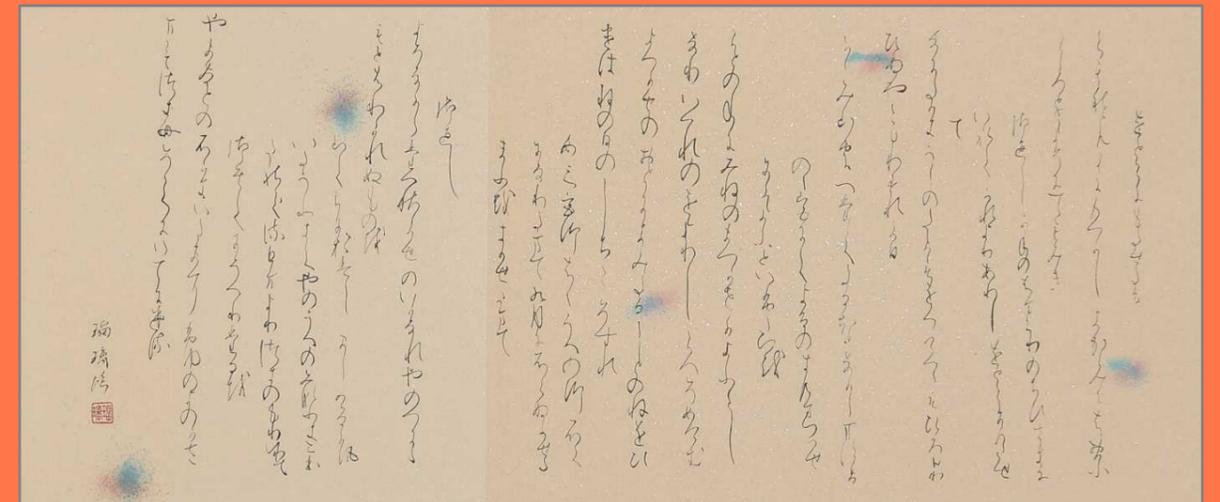
表彰式で自分の名前が呼ばれたとき、一瞬、茫然としてしまったことを覚えています。

「まさか私が芸術文化祭賞を頂くなんて…」自分でも驚いています。

思えば書道と出会ったことで、多くの人との出会いもあり、また、あまり芽が出なかった私に協力してくれた家族にも感謝の心を示すことができ、これまで書道続けてきてよかったと感じています。

そして、日々の練習や様々な場面で私がよく言われてきた「継続は力なり」という言葉の意味が今、やっと理解でき、自分のものにできたような気がします。今後も平常心を保ちながら、何事に向けても日々努力し、精進していきたいと思っています。

最後に、ご指導くださいました天野先生、古守先生、本当にありがとうございました。



作品名「臨・小島切」(写真は部分)

学校生活

様々な学校行事の中で多くの生徒が活躍しています。何人かの生徒に体験で感じたことを聞いてみました。

講演会

スペシャリストの生き様にふれた瞬間

三浦 雄一郎氏講演会～諦めない一歩ずつ～

本校同窓会創立 55 周年を記念し、甲州市との共催で『塩高生と聴く三浦雄一郎講演会』を開催していただきました。

世界最高齢でエベレスト登頂を成し遂げるまでの苦難を語っていただきました。講演後、生徒からは「80年も生きてきた大先輩が苦難を乗り越え、成功を成し遂げたことが、これからの私に自信をくれました」「自分の夢に向かって諦めずに一生懸命頑張ろうと思った」「いつまでも夢を持って生きようかな人生を送りたい」「諦めなければ夢は叶う。自信を持って勉強していきたい」「出来ない、勝てないとすぐに諦めてしまうけど、一度決めたことはやり遂げようと思う」などの感想が寄せられました。三浦雄一郎さんから勇氣と力をいただいた講演会でした。



高野 登先生から“おもてなし”を学ぶ

各学年で行っている地域をテーマにした探求活動をさらに深め、地域社会の一員としての意識を培い、自分自身を見つめる機会を持ってもらうために、おもてなしについての講演会を行いました。講師の「やまなしおもてなしアドバイザー」の高野登先生はホテルに勤務した体験から、具体的な事例で分かりやすく丁寧にお話してくださいました。講演後、生徒は「感謝の心を持ち、人のために何か役に立つことを少しでもしていきたい」「おもてなしの心を持つためには相手の立場になって考えることが大切」などの感想をよせてくれました。おもてなしとは特定の人への特別なことではなく、身近な人への気遣いから始まるのだということが、生徒たちの心に強く響いた講演会となりました。



総合的な学習の時間を利用し、第1学年の一日校外体験学習が行われました。この事業は、大学・短大・専門学校の方々から教育内容や施設設備などの説明を受け、雰囲気や体験することで進路選択の参考にするとともに、進路に対する意識や関心を高める目的で行っています。

すべての生徒の進路希望に応えることは難しく、興味・関心を持って参加してくれるかどうか心配でしたが、充実した内容で皆意欲的に取り組むことができました。とてもよい研修となりました。



強歩大会



女子1位 3年 芦沢 幸希 さん
高校最後の強歩大会。1位になって終わりたい！と思っていました。部活動も引退し、今までよりも運動量がすごく減り、当日はどうかと心配しました。スタートしてから途中、後ろを振り向くと部の後輩が見えて、何度もくじけそうになり諦めようかと考えましたが、今まで頑張ってきたことを思い出し、周りの声援を励みに走りきることができました。ゴールしたときは、言葉では表せない程の嬉しさと達成感でいっぱいでした。「おめでとう」と言ってくれた友達や先生方、応援してくださった方々への感謝の気持ちでいっぱいです。



男子1位 2年 小野 静之 さん
事前のペース走から走るたびに記録が伸びていったので、上位を狙っていましたが、まさか1位をとれるとは思っていませんでした。自分でも驚いています。また、自分自身、ゴールテープを切ったのは初めての体験だったので、不思議な感覚に包まれた感じがしました。偶然のことに、野球部員でトップ3を占めることができ、部活動での成果が現れていたと思います。走っているときに、野球部の保護者や先生たちの応援もあり、力強く走ることができました。そして自分にとって肉体的にも精神的にも鍛えられた意味のある強歩大会になりました。

自分の経験は、どれほど小さくても、
百万の他人がした経験よりも価値ある財産である By レッシング

修学旅行の思い出...

修学旅行委員長 原田 紫苑 さん

高校生活の中で最も楽しみにしていた修学旅行が、12月14～17日の4日間に実施されました。私自身、沖縄へ行くのは初めてのことでしたので、前日までとても緊張していました。

沖縄は南国のリゾート地というイメージでしたが、実際に行ってみると、中国やアジア諸国の影響を受けながら、独自の発展を遂げてきた地であることや、太平洋戦争で激しい地上戦の舞台となり、多くの犠牲者を出した地であることなど、イメージとは違う側面があるということが分かりました。その中で特に、戦争体験の講話やガマと呼ばれる防空壕に入ったことが印象に残っています。

もちろん、リゾート地としての沖縄も満喫してきました。班別行動では、マリンスポーツや沖縄の文化を体験したり、世界最大級の水槽を持つ美ら海水族館を見学したり、楽しい一時も過ごすことができました。

この4日間はとても充実しており、本当に有意義な体験ができたと思います。



一日校外体験学習

English Camp 英数コース

2年4組 武居 理央 さん

1泊2日という短い期間でしたが、大いに「英語」にふれることができた2日間でした。特に、Happinessについての授業では、友達や先生方の前で自分の幸福論を英語で発表し、また、4名の外国人の先生方に、それぞれの国の幸福についての考え方を教えていただくなど、普段の授業では味わえない英語の楽しさ、おもしろさを味わうことができました。また、英語でのコミュニケーションの難しさも同時に知り得ることができたので、英語をもっと勉強したいという意欲がますますわいてくる経験でした。

このキャンプに参加して本当によい経験ができたと思いますので、今後もこのような企画が催されることを期待しています。



Welcome to Enzan High School

8月からお世話になっている Nicholas Thibodeau(ニック)先生に聞きました!

Intro : -23 years old,(23歳)

- From Maryland State, the U.S. (米国メリーランド州出身)
- Has studied Japanese for about 3 years (日本語を3年間勉強してきた)
- Likes sweet food, Architecture and Urban Planning, Sports, and Video Games (好きなものは、スイーツ、建築や都市計画、スポーツ、ゲーム)

Impressions: Enzan H.S. (塩山高校と生徒の印象)

- Very small student body! Entire school=one grade level in U.S. (生徒の数がとても少ない! 全校生徒数=米国の1学年数と同じ)
- School building is about the same size though (学校の建物は同じサイズだけど)
- School is very quiet compared to U.S. schools (とても静かである! 米国の学校と比べて)
- Very cheerful (とても元気)
- Incredibly friendly and welcoming (信じられないくらい友好的で歓迎的)
- Try hard to learn about their passions (興味関心のあることに対して、とても熱心に学ぼうとしている)

Things I want to know: -Where can I get good Mexcian food? (around Enzan)

(お勧めメキシコ料理店はどこにあるか? 塩山付近で)

-How can I volunteer in the community to help Enzan? (どうやって、甲州市にお手伝いできるか?)

